

平成26年 3月 5日
教育振興部教育指導課

「いじめの実態及び対応状況把握のための調査」の結果について

1 本調査の趣旨

児童・生徒からの情報を的確に把握するとともに、いじめの疑いがあると思われる事例に対しても見逃すことなく、組織的かつ迅速に対応する必要があることから、学校におけるいじめの実態およびその対応状況について把握する。

2 本調査の対象期間

平成25年4月1日～平成25年9月30日

3 調査結果（調査内容から主要な部分を抜粋）

(1) 調査期間におけるいじめの端緒別件数と指導経過

端緒別	小学校			中学校		
	件数	解消	継続	件数	解消	継続
① 学級担任が発見	20	15	5	13	10	3
② 学級担任以外の教職員が発見	3	3	0	0	0	0
③ 養護教諭が発見	0	0	0	0	0	0
④ SC等の外部の相談員が発見	0	0	0	0	0	0
⑤ 学校のアンケート等により発見	93	81	12	99	88	11
⑥ 本人からの訴え	60	40	20	56	44	12
⑦ 本人の保護者からの訴え	36	22	14	15	10	5
⑧ 子供（本人を除く）からの情報	17	11	6	11	9	2
⑨ 周囲の保護者からの情報	15	12	3	5	3	2
⑩ 地域の住民からの情報	1	1	0	0	0	0
⑪ 学校以外の関係機関からの情報	0	0	0	0	0	0
計	245	185	60	199	164	35

(2) 調査期間におけるいじめの態様（複数回答）

内 容	小学校	中学校
① ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。	12	4
② 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	47	33
③ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	10	4
④ 金品をたかられる。	2	1
⑤ 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	5	6
⑥ 冷やかしからいじめ、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	142	173
⑦ パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷や嫌なことをされる。	3	5
⑧ 仲間はずれ、集団による無視をされる。	20	12
⑨ その他	5	0

(3) 調査期間末日においても、いじめの疑いが継続している件数（複数回答）

件 数	小学校	中学校
	34	19
① 関係すると思われる児童・生徒が状況を話したがない。	3	2
② 周囲の児童・生徒から状況を聞き取りができない。	1	2
③ 関係すると思われる児童・生徒の保護者から状況を把握できない。	1	0
④ いじめであることを疑った直後であり、今後、対応を行うところである。	8	10
⑤ その他	23	5